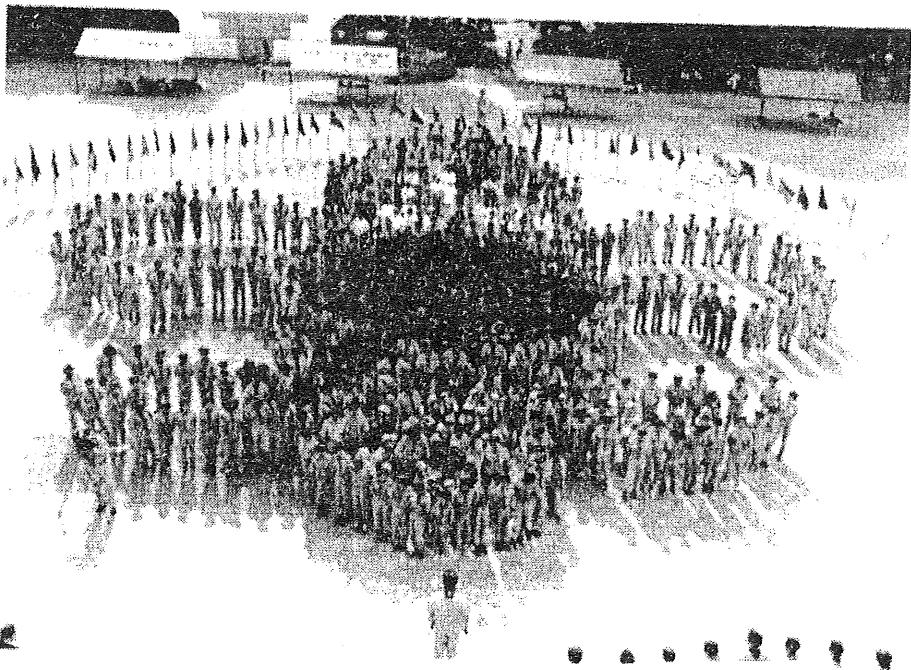


= 杉 8 だ よ り =

団 報

第 204 号

平成 9年 5月 30日



第一イスカウト杉並地区発足20周年記念行事

オープニング・セレモニー テーマ

『小さな一步が今大きな一步に』

ボーイスカウト東京連盟

杉並第8団

团委員会広報

团委員会 H. 9. 4. 26

竹之内、赤城、加藤、桂、島田、万田、高島、山村、高橋、

* 東連「年次総会」 竹之内团委員長出席

* SS隊が「B VS隊、CS隊招待」 4月20日 逆沢
SS隊 = 久しぶりに「非常によくやった。」との評価高し。

* 地区表彰 : CS隊副長「廣瀬喜治氏」(地区行事で参加賞作り等いろいろ奉仕)

* 「育成会臨時総会」 6月22日(日) 13:00~ 萩窪地域区民センター

* 「バザー」について、山村育成会副会長より、前日、当日作業について、説明。

育成会臨時総会

6月22日(日) 13時集合 萩窪地域区民センター

議事: 「年度期間変更に伴う件」 (9月~8月 → 1月~12月)
各隊は予算の修正案、9~12月の活動計画を提出の事。(6/7まで)

地区20周年記念委員会

平成9年5月22日

「キャンポリー」について、各種資料を配付し討議。

* 開会式 : 10:00~ → 15:00~ に変更。

* 下見 : 5/23(土) ~ 24(日)

5/24に各団のテントサイト割り振り等

* その他 : プロパンの利用、発電機の利用等自主性に任す。

アマチュア無線の活用。

区役所に期限切れの非常食あれば活用できないか?

楽しい舞台の催し物や、
模擬店がたくさん出ます。
ので、皆様ご参加下さい。

第19回センターまつり

[日時] 7月6日(日) 10時~4時
[場所] 萩窪地域区民センター

台湾キャンポリー[3/17(月) ~ 3/19(水)]に参加して

杉並八団RS隊 下司 英明

今回のキャンプは想像を絶するものだった。セレモニーは全て現地の言葉で行われたため殆ど何も分からず。赤土の地面には大雨が降り、靴はぐちょぐちょ。更に、スキあらばすぐにスカウト達が押し寄せ、連日連夜のサイン会。従って、夜は自らテントに入らない限り寝ることは不可能だった。

このように多忙ではあったが、現地の若いリーダーや大学ローバーに加え、高専シニアの人達が、設営や食事など、色々と手助けしてくれて、大いに助かった。食事は、料理の説明の通訳が無かったので苦戦したが、ある時は、それぞれのサイトで作った料理を持ち寄って食事会もした。言葉の壁が多少はあったものの、台湾のスカウト達の活気あふれる雰囲気がそれを消し去ってくれ、楽しく過ごすことができた。そして彼らと心の交流もできて本当によかった。

だが、同時に課題も残された。日本という国を、自分なりにどう説明すればよかったのか。また、スカウト同士で電子メールのアドレス交換をする場面も見られた。今や時代はマルチメディアなのである。

僕にとって、これが初めての海外遠征だったが、得るものが多くなった。この貴重な経験を、今後のスカウト活動に、そして人生に、生かしていきたい。



団会議

H. 9. 5. 10

(団) 竹之内、赤城、野呂、高橋、(CS) 大島 (BS) 下司、阿出川、土方、
安澤 (SS) 林

I. 地区関係

- * キャンポリーの下見 5月24日 山中キャンプ場
(サイト割り等現地で打ち合わせ。各団リーダー参加)
- 地区的キャンポリー委員に8団阿出川BS副長を選任。
- * 日連75周年「全国自転車ラリー」杉並地区関係8団奉仕。
4/20 受入れ(杉並区役所) 参加リーダー: 下司、阿出川
参加BS: 笹井、池田、井川、栗田、越中、里見、土方
- 4/27 届け(渋谷区役所) 現地: 竹之内団委員長
参加SS: 高仲、高木、安澤 見送り: 宮崎、高嶋、高橋
- * 11NJ 2級以上のBSスカウト: BS隊は取得すべく努力されたい。
- * 「日米フレンドシップ」 BS隊: 木村、里見参加。
トイレは遠いし、ずっと雨。死にそうだった。(感想)
- * 「スカウト・フォーラム」 5/11 SS隊: 山村、高仲、高木参加予定。



II. 各団報告 5月18日は「バザー」頑張りましょう!

* BVS *

- 4/29 「地区20周年オープニングセレモニー」参加。お疲れ様でした。
- (予定) 5/11 「父母会」 10:00~ 区民センター
" " 「募集説明会」 13:00~ "
- 5/24~25 一泊キャンプ (武蔵野青年の家)

* CS *

- 4/13 夏キャン下見(第2回) 7団同行
- 4/20 隊集会 「シニア招待」 逆沢
天気良く、スカウトも元気で楽しくやっていた。
これもSSスカウトがチームワーク良く、張り切ってやってくれたお蔭。
- 4/29 「地区オープニングセレモニー」自由参加。
- (予定) 5/11~12 夏キャン下見(第3回) 主にハイキングコース
- 5/25 隊集会 濾過器を作成し「水質検査」 上荻児童館

* BS *

- 4/4~6 「第3回フレンドシップ・パトローリー」参加(木村、里見)
- 4/12~13 隊集会「オーバーナイト・ハイキング」
鳩の巣→御岳山→日の出山→吉野梅郷→日向和田
父兄参加: 大島父、土方母 SS隊参加: 清水、高木、高仲、安澤
去年よりキツかったが、天気良し、朝日良し。ヘルボップ彗星見えず。
- 4/19 春キャン下見(笹井、安澤、岩下)
" GB会議、リーダー会議
- 4/20 日連75周年自転車ラリー: 自転車受取り奉仕
- 4/26 リーダー会議 (春キャン準備、バザー用品購入)
(团倉庫の草取り)
- 4/29 「地区20周年オープニングセレモニー」参加
- 5/3~5 「春キャンプ」 黒沢川 全員ケガもなく無事帰る。
(団委員参加: 島田、万田、高橋)
- (予定) 5/17 GB会議、リーダー会議
- 5/24 夏キャン下見(山中野営場)
- 5/31 6月隊集会の下見 (30Kmハイク: 青梅→荻窪)
- 6/8 隊集会
- 6/14、6/21、22 「野営法」参加予定: BS笹井副長、岩下副長
" CS山村副長補
- 6/28 「父母会」 (夏キャン参加要請、11NJ説明他)



* SS隊 *

- 4/27 日連75周年自転車ラリー奉仕 (高仲、高木、安澤)
「高木スカウト」立派に代表挨拶。
- 4/29 地区20周年オープニングセレモニー参加
- 5/9 隊集会
(予定) 5/11 地区フォーラム「スカウト活動について」
山村、高仲、高木参加 阿佐ヶ谷区民センター

* RS *

- 3/20~24 「雪中キャンプ」 谷川岳 マチガ沢キャンプ場
参加スカウト: 渡辺、別役、山村、平間、小畠
- 4/19~20 「BVS, CS招待」
参加スカウト: 渡辺、山村、別役、平間、小畠
- 4/29 「地区30周年オープニングセレモニー」 地区委員=下司
参加スカウト: 別役、下司、小畠
- (予定) 5/27 隊集会 8:00~ 天野隊長宅

退団スカウト: 宮前元樹、横田昌平、本田大嗣典





ボーイ隊春期隊キャンプ報告

REPORT of Our Troop's SPRING CAMP in May

実施日 : 5月3日(土) ~ 5日(月)

今月のテーマ : レベルアップ

隊集会目的 : 春期キャンプ

実施場所 : 青梅 黒沢

[トピックス]

第一日 5月3日(土) 曇りのち雨

- 資材を運搬する別働隊リーダー3名は、早朝に出発。現地にAM7:15頃到着し、設営準備にとりかかる。
- 参加スカウト19名とリーダー3名でAM8:00過ぎに荻窪駅を出発。
- 本隊はAM10:15頃現地到着。早速開村式をとり行う。
- 全員一致協力して設営を開始、スムーズに設営が進む。
- 各班食器棚のクラフトに手間どいながらも各自アイデアを出した食器棚が完成。
- 夕食はカレーライスとシシカバブ、グリーンサラダでまあまあの出来映えとしておきます。
- 夜は恒例の「肝試し」だったが、課題の記憶力は今一歩。
- 夕方から降り出した雨対策も万全に就寝。



移動の スカウトたち、皆、元気な現代っ子で、熱心にスカウト活動に取り組んでいるが、時としてハメをはずすこともある。

第二日 5月4日(日) 曇りのち晴れ

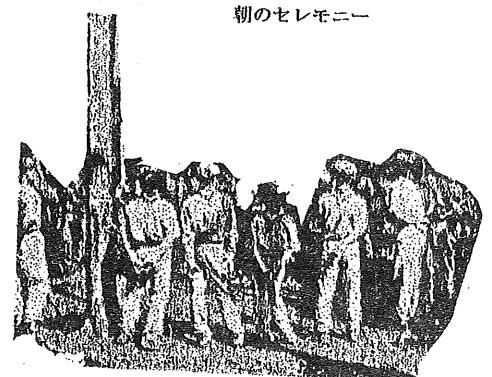
- 夕べの雨も朝にはあがり、すがすがしい朝を迎える。
- 夜の点検では各班とも予想以上の整理整頓ができており良かったが、中でもバイソン班が全体的にまとまっていて優秀賞となる。
- 午前中は基本訓練で主に手旗とロープの訓練を実施。スカウトのレベルも高くリーダーも安心。
- 午後は周辺の山を散策、ポイントOLで班毎に出発するも各班とも予定時間を大幅に短縮して到着。レベルアップを実感。
- こうして充実した一日を過ごし、夜は楽しみにしていた大營火でしめくくり、スカウト諸君も歌にスタンツに興じていた。



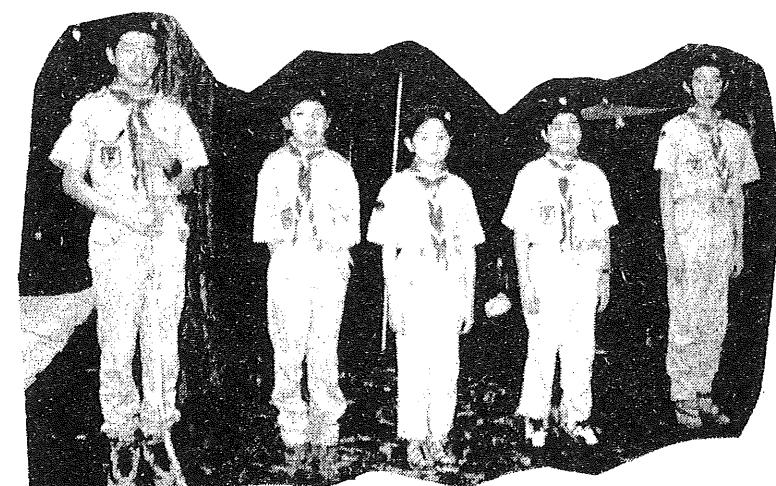
朝の点検

第三日 5月5日(月) 晴れ

- 昨日の疲れでスカウト諸君も早々と熟睡し、合わせてリーダーも寝坊して20分遅れの起床で大慌て！
- 最終日でスカウトも手際よく朝の食事・点検までをこなし、遅れを解消改めてリーダーも脱帽！！
- 最終日の昼食はリーダーが焼きそばと焼き芋を準備、スカウトもやつと食事らしい食事にありついたのか評判良好。
- ほぼ順調に撤営を終え閉村式に臨む。最優秀班は「コブラ班」に授与、二日目の賞を独占した結果で皆納得。
- こうしてあっという間の春キャンプも終わり、スカウト諸君も一段とたくましくなり、狙いの「レベルアップ」の目的を達成。



朝のセレモニー



ひろば

多様化の時代に生きる

子どもと大人



会澤勝見

(荻窪一丁目住)

「済みませんが、自転車を貸して下さい。」と言つて隣の家から黒塗りの重くて大きい自転車を借りてお使いに行かされたのは、もう五十年以上前の出来事である。その頃は、貧しい家が多くて自転車さえ持っている家が大へん少なかつたのである。借りられない時は、ハキロメートルもの道のりを二時間もかけて歩いたものである。

「済みませんが、自転車を貸して下さい。」と言つて隣の家から黒塗りの重くて大きい自転車を借りてお使いに行かされたのは、もう五十年以上前の出来事である。その頃は、貧しい家が多くて自転車さえ持っている家が大へん少なかつたのである。借りられない時は、ハキロメートルの道のりを二時間もかけて歩いたものである。

（荻窪一丁目住）

昨今は、自転車どころか、立派な自家用車まで持つている家庭がほとんどである。このように身近な乗り物一つを取り上げてみても時代の変化は著しい。

現代社会は、航空機・新幹線・地下鉄・タクシーなど交通の発達によって非常に便利になったし世はまさに「スピードの時代」である。これも文化国家のもたらすもので、若者から高齢者に至るまでバイクや自家用車のスピードと便利さに魅力を感じるのは当然と言えよう。しかし、

健康を保つためには「歩くこと」が大切だと聞かされると乗り物に頼った生活ばかりもしていられない。「足は第二の心臓」とも言われているのだから、できる限りころばないよう歩くことを勧めたい。

反面、食べ物を平気で残したり捨てたりする。また、一度でも使った品物や古くなつた物はもういらないという。昭和一桁（大正）生まれの高齢者がよく口にする「もつたひない」とか「徐約する」などの言葉はやがて死語になるかも知れない。

お金や品物が氾濫している世の中とい、子どもに対する物の便利さ・豊富さの中

難しい。すべての大人自身が過去に一度も経験したことのない「品物豊富な現世」に大きなか惑いを覚えている。即ち、食物も衣服もお金にも不自由していた第二次世界大戦の頃は、人々皆が我慢をしたし辛抱するほか仕方がなかつた。そんな昔の時代と今は比較にならない。

ほしい物があれば、何でもいつでもすぐ手にはいる。頭金だけ用意すればバイクだって簡単に買える今の時代である。

誰にも等しく「生きる権利」がある。みんなが健康で安心して希望をもって生きていく社会にしたい。

で、健康の保持と性格の陶冶（どうや）を目標に、何を、いつ、どのくらい子どもに与えたいのか（我慢させるのか）大人にとってまさに暗中模索の状態が今後も当分続くことだろう。

「おぎくぼ」 97.5.10号 より
(荻窪地域集会施設運営協議会・発刊)

なお、同協議会の副会長に8団の「山村さわ子氏」が就任。

「障害者野外料理」奉仕

（杉並障害者福祉社会館運営協議会・主催）

- 平成9年5月25日（日）
- 秋川（武蔵五日市=今、あきる野市）
- 奉仕者（育成会）山村、（団）赤城、高島、高橋、
(S S) 高木、高仲、

== いい天氣で、すがすがしい一日でした。 ==

帰りにビーバー隊の一泊キャンプの二日目、小金井公園に立ち寄り、激励。ビーバースカウトは元気で無邪気。まだ組織的活動にはムリな年代。

それぞれが独立独歩、やりたい放題、よって目を放せず。

それだけに、ビーバー隊の隊長はじめリーダーは大変だナーナーと実感。

文責：高橋 廉二